

起請文起原

堅と云事有、大小となく官人と成時は、其官夫々取計ひ様の條目あり、其掟條目の通り堅相守り、奉職無狀有まじきとの誓約して、神文に血判する、是を堅と云、其堅の不濟しては官の密事簿書簡牘等披閱する事を不免事を取調する事ならず、此神文は慶長十八年五月、東照神祖、浮屠氏に命じて、文を作らしめ、天下に詢達す、神文式あり、世の人知る所なれば不贅、○下略

〔平田寺文書〕

綿壹千屯 布壹仟端

稻壹拾萬斤 墾田地壹佰町

以前捧上件物、以花嚴經爲本、一切大乘、小乘、經律、論抄、疏章等、必爲轉讀講說、悉令盡竟、遠限日月、窮未來際、敬納彼寺、永爲學分、依此發願、太上天皇沙彌勝滿○聖武天皇諸佛擁護、法藥薰質、萬病消除、壽命延長、一切所願、皆使滿足、令法久住、拔濟群生、天下太平、兆民快樂、法界有情、共成佛道

復誓其後代、有不道之王、邪賊之臣、若犯若破障而不行者、是人必得破辱十方三世諸佛菩薩、一切賢聖之罪、終當落大地獄、無數劫中、永無出離、復十方一切諸天、梵王帝釋、四天大王、天龍八部、金剛密跡、護法護塔、大善神王、及普天率土、有大威力、天神地祇、七廟尊靈、并佐命立功大臣將軍之靈等、共起大禍、永滅子孫、若不犯觸、敬勤行者、世世累福、紹隆子孫、共出塵域、早登覺岸、

天平感寶元年閏五月廿日

勅

奉 勅

正一位行左大臣兼太宰帥橘宿禰諸兄

右大臣從二位藤原朝臣豐成

大僧都法師行信

〔古今著聞集十六興言利口〕賀緣阿闍梨と聞えし人、何事の意趣の有けん、慈惠僧正を濫行肉食の人た